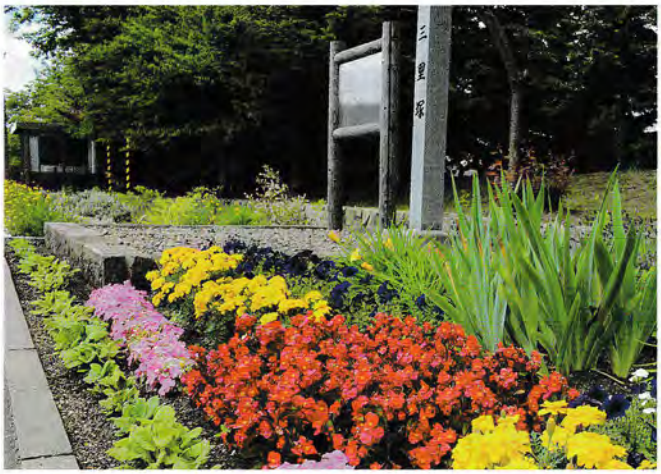
清流あしりべつ

発行
清田地区町内会連合会
〒004-0841
清田区清田1条2丁目
TEL883-7600
FAX883-8057
発行責任者　牧野　晃



室蘭街道の史跡を訪ねて

今年創立50周年を迎える清田地区町連では、記念事業の第1弾として6月と7月の2回に分かれ「旧道をゆくバス探訪ツアー（室蘭街道の旅）」と題し、明治初期の清田地区開拓の原点である「室蘭街道」の謎を探りながら、創成橋から旧島松駅逓所までの里程標や明治天皇御巡幸の記念碑、足跡等を辿りました。

「北海道里程元標」は、北海道の主要道路の起点として創成橋東側に設置され、札幌から室蘭まで34里を測量して1里毎に何里塚と書いた標柱が設置されました。

コースの中間点で、現在の地名「里塚」の由来となった三里塚は平成16年10月、三里塚小学校の開校100周年を記念して、約半世紀ぶりに地域のシンボルとして復興しました。

最終地点の旧島松駅逓所は、室蘭街道（札幌本道）の開通に伴い設置され、開拓期の北海道で重要な役割を果たしました。この駅逓所は、クラーク博士が帰国途中に立寄り「青年よ大志をいだけ」という名セリフを残した舞台となり、また明治天皇北海道御巡幸の際の行在所にもなりました。昭和59年、国指定史跡に指定され、当時の構造を残す建築物としては道内最古のものです。

ツアーに先立ち開催された事前歴史講座や本番当日参加者に配布された数々の貴重な資料は、ふるさと開拓の歴史再発見と共に、大いに見聞を広めることに役立ちました。

（写真撮影・清水　延明）

27年度を迎えて

清田地区
町内会連合会　会長
牧野　晃

4月18日の27年度定例総会におきまして、事業計画・予算案の承認を頂き、新年度の活動がスタートしたところです。

今年度も皆様方のご支援ご協力を頂き、課題解決に一歩でも近づけますよう、鋭意努力する所存です。

よろしくお願い致します。

さて、総会で申し上げました今年度の最重要課題は清田地区町連設立50周年記念式典並びに関連事業の実施であります。

私たちの町連は昭和40年に周囲の期待を担って設立されスタートしました。

町連の設立前は農事組合が主体となり、地域の様々な課題に対応してきました。昭和35年頃から、宅地開発が急速に進み人口も増加して新しい町内会が誕生するようになりました。このため将来のまちづくりを考えて行政との連絡を密にする必要から、地域を統一する町内会連合会の設立が検討され、昭和40年に豊平町連から独立し発足したのです。

歴代の役員の方々には、目標を高く掲げ、地域発展のため献身的に活動され、今日の町連の基礎を築いて下さいました。私たちは、先輩諸氏のご努力に心より敬意と感謝を申し上げますとともに、町連活動に対する熱い志を受け継ぎ、次代を担う若い方々に引き継いでゆく事が私たちの責務と思っているところでございます。

記念式典・祝賀会は11月14日（土）に実施することに致しました。

また、記念すべき事業として、清田地区にお住まいの多くの方々が協賛して参加頂くために、4つの記念関連事業を実施する事に致しました。その内、2つを紹介します。

◆1つは、旧道をゆくバス探訪ツアーで、旧室蘭街道の史跡を訪ねる旅です。旅は札幌創成川から始まり、清田を通り、クラーク博士が帰国するさい学生たちと別れたと云われる島松駅逓まで続きます。このバスツアーの真の狙いは「郷土愛」の醸成です。

◆2つは、第3回ふれあいまつりです。「ふれあいまつり」は清田地区唯一のお祭りで、開催ごとに多くの方々の参加を頂いております。

平成25年の第1回では410名の人たちが、2回目の昨年は465名が訪れ大変賑やかで楽しいものでした。特に、2回目は町内会代表によるカラオケ大会が好評で会場を大いに盛り上げました。今後とも皆様方のご協力とアイデアを活かし、「ふれあいまつり」が大きく成長していくことを願っております。

終りに、50周年記念事業につきまして、各町内会の皆様方のお力添えを頂き、成功のうちに終了できますよう願っております。

よろしくお願いし新年度のご挨拶と致します。

27年度定例総会

清田地区町内会連合会の「平成27年度定例総会」が4月18日（火）の午前10時から清田区民センターで開催されました。（定数78人、役員・代議員の出席63人、委任状2人、欠席13人）。

牧野　晃会長の挨拶のあと真栄第二町内会の氏家　正さんを議長に選出し議事に入りました。

26年度の事業と決算報告を承認したあと27年度の事業の運営にあたって牧野　晃会長が

① 少子高齢社会における課題として「互いに支えあう、人にやさしい」まちづくり。特に独り暮らしの高齢者の〝孤立死を防ぐ〟見守り活動と日常支援。

② 地域の子どもたちやお年寄りの安全を守る防犯・防災に関する問題、特に災害時におけるお年寄りらの避難支援の組織づくりなどの基本方針を表明しました。

最後に27年度の事業計画案、一般会計・印刷機事業会計・周年記念事業予算案を原案通り承認し総会を終了しました。

盲導犬の訓練に心ひかれる

昨年の暮れ、女性部の研修で南区にある北海道盲導犬協会に出向き訓練の模様を見学して来ました。

協会は国内で唯一、積雪地域にある施設という条件から、冬の難しい道路状況でも安全に誘導出来る盲導犬を育成しています。また、施設には世界で唯一つという引退した犬のケアを行う「老犬ホーム」が整備されています。

盲導犬はハーネスと呼ばれる白い胴輪をつけ、視覚障害者が外出する際に安全に目的地へ誘導する為に特別訓練された犬です。

主な訓練（盲導犬の仕事）は

1、道をまっすぐ歩く
2、交差点で止まる
　盲導犬の最も重要な仕事。
　信号機や横断歩道の有無に係わらず「道が交わっている所」を止まって知らせる。
3、障害物を避ける
4、目的物を探す
　階段、ドアなど近くにある物を探して主人が触れる位置まで誘導する。
5、不服従の服従
　犬は信号の色を判断できません。道路を横断する判断はあくまで主人が行います。その命令が間違っているときに指示に従わず、安全を優先させます。

訓練を見学して、まだまだ人に甘えたい若い犬たちの目が、凛々しくも可愛らしく、思わず抱きしめたい衝動に駆られました。

「老犬ホーム」では役目を終えた犬たちが仲間とのんびりすごしていました。多くのボランティアに支えられ幸せに老後を過ごす様子に心が温かくなる研修でした。

（佐々木　康子）

クリーンさっぽろ衛生モデル地区 真栄第三町内会が受賞

昨年11月29日（土）札幌市民ホール大ホールで「26年度クリーンさっぽろ」の関連表彰式が行われました。

この中で真栄第三町内会が、地域の環境美化、ごみの減量、リサイクルの推進などについて顕著な功績が認められ、クリーンさっぽろ衛生モデル地区として表彰されました。

表彰状を持つ会長

畑中悟利会長は「ゴミステーションの増設・管理のほか、真栄公園の樹木伐採と通称「ヘビ山」の白樺林の伐採を目指してきました。犯罪防止にも役立ち嬉しいかぎりです」と話していました。

輪過死・犯罪から守ろう

今年は雪解けが進み、開放感が早めに感じられる季節が到来しました。不審者・変質者の出没、気のゆるみが原因の交通事故、事件がシーズンに入って増えています。こうした事件・事故から人々を守ろうと、今年も地域の人たちが活動を始めています。

✣新学期を前に青パトの発動式

3月23日（月）「ホーマックスーパーデポ北野通店」の屋上駐車場で清田区の青色回転灯装備車（青パト）の発動式が行われました。

これは新一年生も誕生する4月からの新学期を控え「気持ちを引き締めてパトロールを展開しよう」と行われたもので会場には24台の「青パト」が勢ぞろいしました。

清田区の新谷光人区長が「青パト」は犯罪抑止に大変効果があり心を引き締めパトロールにあたっていただきたい」と激励。

このあと里美・美しが丘地区の大形修三代表が「頑張って行こう」と宣言。隊員たちが車に乗り込み次々と地域のパトロールに出動していきました。

✣春の交通安全運動

5月12日（火）「スーパービバホーム」清田羊ヶ丘通店の駐車場で春の交通安全運動・清田区交通事故防止総決起集会が行われました。

会場には町内会をはじめ関係団体から600人が参加し、「事故防止」を誓ったあと、羊ヶ丘通りに出て街頭啓発を行い、走行する車のドライバーに安全運転を呼びかけました。

50周年記念事業
バスツアーで歴史を探る

明治初期の清田地区開拓の原点となった室蘭街道（室蘭～札幌・現国道36号線）の道筋や石碑をめぐり清田区の歴史を探ろうと6月27日（土）町連の50周年記念行事「旧道をゆくバス探訪ツアー」が開催され、50人の人たちが参加しました。

ツアーには北海道教育大学特認教授の田山修三さんと、まちづくりセンターの杉本雅章所長が添乗し、分かりやすく解説しました。

バスは最初に二里塚があったとされる農業試験場入口付近に立ち寄ったあと、「室蘭街道」の起点、札幌市中央区南一条通りの「創成橋」たもとにある「北海道里程元標」を確認しました。

また、クラーク博士が居住した「開拓使本陣跡」の碑を訪ねました。

午後からは旧道を通って平成16年に復元された「三里塚碑」を見学したあと、続いて明治天皇が休憩したとされる大曲中学校敷地内の「御野立所跡」の碑を観て、四里塚、五里塚付近を通過、一里ごとの標識や足跡を確認しながら最後に「旧島松駅逓所」を訪ねました。

この建物は北海道寒冷地米の祖である中山久蔵の住居が駅逓となり残されているもので、明治天皇行幸の際の行在所（休憩所）としても知られています。

室蘭街道・一本の道が、久蔵から長岡重治へ赤毛米の種籾が伝わる役目を果たしアシリベツに稲作の成功をもたらして現在の清田という地名に結びつきました。

総延長約50キロの歴史を訪ねるツアーでしたが、見なれたところでも説明を受けて見つめると、新たな事実もあり、歴史フアンにとって興味深いツアーでした。

（佐々木　康子）

これからの記念事業

①「歩け歩け運動」

秋を楽しみながら健康づくりを進めてもらおうと町連の体育部が実施する行事。

清田緑地～厚別川河川敷に出て下流へ～北野たかくら公園で折り返し～真栄公園にゴール。コース延長はおよそ8キロ。季節の花や地域の町並みを見ながら歩くのが魅力です。ゴールでは焼肉とビールが待っています。

月日　9月13日（日）
時間　9時区役所前集合

②「清田地区ふれあいまつり」

地域福祉について理解を持ってもらおうと開催されるものです。

会場ではチャリティーバザール、手作り製品・産地直送野菜と生花の販売、ステージでは様々な催し、また楽しみ抽選会などが組まれています。

月日　9月26日（土）
時間　10時～15時
会場　清田区民センター

③「第19回清田区ふれあいコンサート」

クラッシック音楽を通じて区民のふれあいを深めてもらおうと開かれ

るもので、清田ゆかりの演奏家が出演します。豊かな響きに感動を覚えるクラシック音楽の世界でひとときの憩いや鑑賞に浸ってはいかがですか。

月日　10月25日（日）
時間　14時（開場1時半）
場所　清田区民センター区民ホール
入場料は500円

残念!! 花は散って…

5月10日（日）清田区の旧国道の「あしりべつ桜並木通り」で〝桜ウォーキング・花見会〟が開かれました。午前9時半、気温10℃肌寒い天気の中、高齢者や家族連れなどおよそ200人が係員を先頭に桜並木通～清田緑地～清田公園～あしりべつ川沿いの3・5kmコースに足を進めました。

八重桜

並木通りにはおよそ140本のエゾヤマザクラが植えられていますが、今年は4月下旬に真夏並みの気温となったため4月29日には満開。

暖かい日はその後も続き、5月早々花びらが散ってしまいました。

参加者たちは花の散った木の下を通過。所々で満開となっている遅咲きの八重桜を楽しみながら、1時間半のウォーキングに汗を流していました。

この後は楽しみのジンギスカン鍋を囲んで「花見会」。煙の上がる鍋を囲みながら話に〝花〟を咲かせ焼肉を口に運んでいました。

地域との結びつきを強める 札幌国際大学

清田有楽町内会、清田中央町内会と接する札幌国際大学は静修短大としてスタートしてから今年で46年目。名称も変わり男女共学となり、現在学生数は1500人を超える大きなキャンパスとなっています。

学生の迷惑駐車やゴミのポイ捨てなどで地域住民を悩ませる事も多いのですが、大学側はここ数年「地域に開かれた大学」をめざして積極的に町内会にアプローチをしています。特に今年2月に有楽町内会の住民400戸に配布した「専用カレンダー」が好評です。

〝地域の話題を掘り起こして学びに役立てよう〟というテーマを掲げた横田久貴准教授のゼミは学生の発案でカレンダー作りに取り組みました。

A3版を二つ折りにして一面は日付け、もう一面に防災、健康情報、さらに「町内会・今月のおもな行事」などを若いセンスでイラストとともに掲載。

地震など〝いざ〟という時の避難場所、持ち出し品のリスト、季節ごとに食中毒、熱中症、花粉対策などきめ細かく掲載しています。

2月には更に、学生だけでなく住民にも参加を呼びかけた「地域活動・リーダー研修会」を開きました。

学生がまちづくり活動に参加するきっかけを考える、いま地域が大学に何を求めているか…などについて活発に議論しました。参加した町内会の役員たちも研修会後には多くの学生と話し合い貴重な学習体験となりました。

また、大学はかねてから「社会人教養楽部」を設け、学生とともに学ぶ講座を前後期各60科目以上開放していますが、今年度も延べ500人の受講生のうち54％が清田区の住民です。区内に工場を持つコカ・コーラと共同で真冬の「ふれあい除雪」も行われ、一人暮らしのお年寄りたちに感謝されています。

カレンダー作りに関わった中国語研究会の山辺文香さん（3学年）は「中国人留学生も除雪や地域活動に加わりたいと言っています。呼ばれればどこへでも行きます。交流の輪を広げていきたい」と元気に語っていました。

（飯部　紀昭）

町連創立50周年記念事業に寄付

西海利一さん
真栄1条2丁目
12－29

真栄で生まれ育ち、町内会及び町内会連合会の保険衛生部長として、地域の環境美化、保健衛生活動に長年尽力された西海利一さんが、米寿を迎えた記念として札幌市の市民活動を支える「さぽーとほっと基金」に100万円を寄付し、3月9日上田文雄市長から感謝状が贈られました。「長年、支えられて来た地域の方々への恩返しになれば」と話された西海さんの厚志は6月から11月に予定されている町連創立50周年記念の4事業の費用にあてられます。

（長屋　俊一）

区長・町連会長表彰

6月19日（金）清田区民センターで開催された清田地区町内会連合会の役員研修会席上で、長年にわたって町内会活動に携わり地域の発展に力を注がれた3人が荒谷光人清田区長と牧野晃町連会長から感謝状と記念品を受けました。

〈区長表彰〉（敬称略）

西海　利一
真栄第二町内会

主な活動暦

総務・副会長　1年
会長　1年
保健衛生部長　10年
町連保健衛生部長　4年
清田クリーンさっぽろ衛生推進連絡協議会　推進委員　16年
右同会長　1年

〈会長表彰〉

西野　徹
真栄第一町内会

主な活動暦

青少年育成部長　2年
青少年育成副部長　4年

高橋　昇
真栄第三町内会

主な活動暦

北海道障がい者就労支援推進委員会委員　2年
清田区障がい福祉関係者等ネットワーク会議監事　5年

きよた文苑

短歌・俳句・川柳をお寄せ下さい

「きよた文苑」欄を設けています。左記の要領により奮ってご応募ください。（短歌・俳句・川柳の内のどれか）に限ります。

ハガキに自作作品（既発表可）を一種三句までとし、作品には必ず種別を、また住所・町内会名・氏名・電話番号を明記し、左記までにお送り下さい。

送り先
〒004－0841
清田区1条2丁目
5－35
清田まちづくりセンター内
清田地区町連広報部

＝川柳＝

★地下鉄はスマホだらけで本を読む
清田有楽町内会　横山　勝彦

★出る杭を育てず叩く単細胞
★道ならぬ恋と言われてなお燃える
新平岡町内会　M・Y

＝短歌＝

遠き日に

★善戦の及ばざりし日に子の脱ぎしユニホームの泥心こめ洗ふ
★制服洗う日床屋に行く日われに告げて子は十五歳受験日近し
★遠き日のスキー競技の子らの帽子撫づれば歓声きこゆる如し
真栄第三町内会　清水　芳洞

★戦後ひとりの戦死者もなく戦争の歯止めとなりし九条危ふし
★サロマ湖はオホーツクの潮たつぷりと抱きて養ふ帆立と牡蠣を
★手を合はせ一途に祈る女人なり子を産みさうな「合掌土偶」
★屯田の裔の一村にぎつしりと蕎麦の花咲く千五百町歩
★新聞は誰に味方をしてゐるかネットの社説日々読み較ぶ
★ふりみだれふりしづみゆく六花わが移り来し街にふり積む

◁4月　交通安全街頭啓発

▷7月　こがもちゃんバス遠足

◁7月　清田区民まつり

▷8月　清田区防災訓練

▷12月　福まちお楽しみ会

清田地区町内会連合会年間主要事業

年　月	事　業　名　・　内　容
平成27年４月	・清田地区町内会連合会総会（総務部） ・防犯パトロール、子どもを守る強化月間（防災・防犯部） ・春の交通安全街頭啓発（交通安全対策部）
５月	・清田区女性部連絡協議会総会（女性部）
６月	・不法投棄対策事業（１回目）（保健衛生部） ・役員一日研修（総務部） ・青少年育成委員会全体研修会（青少年育成部）
７月	・夏の交通安全街頭啓発（交通安全対策部） ・第37回札幌市社会福祉大会（福祉厚生部） ・第16回パークゴルフ大会（体育部） ・連合会だより59号発行（広報部）
８月	・清田区民まつり（総務部・交通安全対策部・青少年育成部） ・清田区防災訓練（防災・防犯部） ・清田区５町連地区対抗壮年野球大会（体育部） ・親子レク（青少年育成部）
９月	・秋の交通安全街頭啓発（交通安全対策部） ・厚別神社祭典見まわり（青少年育成部） ・第40回歩く運動（体育部） ・清田地区女性部長会議（女性部）
10月	・秋の地域安全運動道民集会（防災・防犯部） ・共同募金活動（福祉厚生部）
11月	・冬の交通安全街頭啓発（５地区合同） ・大縄跳び大会（青少年育成部）
12月	・第３回保健衛生部会（保健衛生部） ・清田町連歳末防犯パトロール（防災・防犯部） ・親子餅つき大会（青少年育成部） ・１円玉募金取りまとめ（女性部）
平成28年１月	・地区新年交礼会（総務部） ・成人式（参加協力）（青少年育成部） ・連合会だより60号発行（広報部）
随　時	・子どもの見守り活動（防災・防犯部） ・防犯夜間パトロール（防災・防犯部）

清田地区社会福祉協議会（福祉のまち推進センター）年間主要事業

年　月	事　業　名　・　内　容
平成27年５月	・『清田地区社会福祉協議会』定期総会
７月	・「こがもちゃんバス遠足」 ・「ほほえみ行楽バス旅行」
９月	・第12回 こがもちゃんミニオリンピック大会 ・清田地区社協「ふれあいまつり」
11月	・『友愛訪問』
12月	・第13回 福まちお楽しみ会

◁1月　清田地区新年交礼会

平成27年度 清田地区町内会連合会役員名簿

役職名	氏名	所属町内会	備考
顧問	長岡武夫	清田町内会	
	林　茂	清田町内会	
	紙栄吉	東真栄町内会	
会長	牧野晃	真栄第四町内会	
副会長	清野廣一	真栄団地町内会	総務部長 兼務
	田崎克典	真栄第三町内会	福まち運営委員長
	松原宏悦	清田有楽町内会	
監事	畠山昇	新平岡町内会	
	齋藤博美	真栄第一町内会	
総務部長	清野廣一	真栄団地町内会	
財務部長	角口八郎	東真栄町内会	
福祉厚生部長	漆館勝弘	有明町内会	
保健衛生部長	大橋秀雄	東真栄町内会	
防災・防犯部長	横江光良	清田有楽町内会	
交通安全対策部長	本間亜輝	新平岡町内会	
青少年育成部長	田上雄二	真栄第一町内会	
女性部長	茂木良子	真栄第二町内会	
体育部長	住吉誠一	真栄第一町内会	清田体育振興会会長
広報部長	小山田義信	真栄団地町内会	
理事	林　憲	清田町内会	清田町内会会長　清田地区青少年育成委員会会長
	小澤和明	シアス羊ヶ丘通り町内会	シアス羊ヶ丘通り町内会会長
	大谷邦昭	清田有楽町内会	清田有楽町内会会長
	竹本勲	新平岡町内会	新平岡町内会会長
	山本顕之進	真栄第一町内会	真栄第一町内会会長
	長屋俊一	真栄第二町内会	真栄第二町内会会長
	畑中悟利	真栄第三町内会	真栄第三町内会会長
	齋藤卓三	真栄第四町内会	真栄第四町内会会長
	小林秀雄	東真栄町内会	東真栄町内会会長
	遠藤定一	真栄団地町内会	真栄団地町内会会長
	後藤秋雄	美しが丘町内会	美しが丘町内会会長
	川瀬俊昭	有明町内会	有明町内会会長

編集後記

子育てを終えた家庭が学校の様子を知る手立ての一つに「学校だより」がある。学校と児童・生徒の様子を定期的に知らせてくれる「学校だより」を楽しみにされている方も多いと思う。便りや行事案内などは町内会役員の郵便受けや、まちづくりセンターの連絡ポストに入れられていることが多いのだが、ある中学校では学校と地域の連携活動の一環として「地域親善大使」活動に取り組んでいる。

これは、下校途中の生徒たちが自己紹介の名刺を添えて、手渡しで「学校便り・学校行事案内」などを届けてくれるボランティア活動で、生徒たちが地域の人との架け橋となって学校を理解してもらうことを目的とし、地域と学校の関係がさらに向上することを目指す活動だそうだ。

先日行なわれた運動会の案内状とプログラムを近所の児童がお母さんと一緒に届けに来てくれた。

また、ある小学校では3年生の総合的な学習の一環として防犯ボランティアの方々へのインタビューを計画。児童が安全を支える方々の思いや苦労を知り、感謝の心をもってくれることを願って実施するインタビュー活動への協力依頼の文書が届いた。児童・生徒の姿が身近に感じられるこれらの取り組みは、地域と学校が連携するうえで大きな力になると思われるが、これらの活動を通して児童・生徒たちの「心と世界」が家庭と学校にとどまることなく地域社会へと広がっていくことも期待したい。

「ちいさな親善大使」の嬉しい訪問と学校の取り組みに共感し出稿しました。

（長屋　俊一）

27年度の広報部員です
（五十音順）

飯部　紀昭（清田有楽）
小山田義信（真栄団地）
小山　眞（東真栄）
佐々木康子（真栄第四）
清水　芳洞（真栄第三）
田中　強（美しが丘）
長屋　俊一（真栄第二）
三原　武晴（清田）
アドバイザー
清水　延明（エンブレム）
杉本　雅章（まちづくりセンター）